

新型コロナウイルス感染症『概観と臨床像』

城里町国保七会診療所 上井 雅哉

■新型コロナウイルス感染症のはじまり

2019年12月に中国で原因不明肺炎が集団発生し、それが新種のコロナウイルス感染症であることがわかりました。その後、急速に世界各国に拡大し、3か月後には世界保健機関(WHO)により「パンデミック(世界的大流行)」が宣言されました。

これまで、2002年の重症急性呼吸器症候群(SARS)や、2009年のブタ由来H1N1型インフルエンザのパンデミックなど、人類が脅威とを感じるような「新興・再興感染症」をいくつか経験しています。

ただ、新型コロナウイルス感染症がこれほど我々の生活に影響を及ぼすとは、1年前には誰にも想像できませんでした。

■新型コロナウイルスとは？

「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)」はコロナウイルス属の一種です。同じウイルス属には、風邪の原因となるコロナウイルスや、2002年に流行した「重症急性呼吸器症候群(SARS)」、2012年以降にサウジアラビアなどで流行している「中東呼吸器症候群(MERS)」が含まれます。

現在、新型コロナウイルス感染症は全世界で7,000万人を超える感染者(令和2年12月末現在)を数え、死者は169万人を超えました。

■新型コロナウイルス感染症の臨床像

症状が現れるまでの期間は平均5～6日ですが、長い場合は14日程度かかることもあります。当初は発熱、咳、鼻汁、のどの痛み、筋肉痛・倦怠感などの感冒様症状で発症します。嗅覚障害、味覚障害をとともなうこともあります。臨床経過の報告では、発症したケースの80%が軽症のまま治癒し

ますが、1週間後には20%が肺炎症状の悪化により入院、さらに5%が集中管理を必要とし、2～3%が致死的な経過をたどるとされました。

高齢者が重症化しやすく、心血管疾患、糖尿病、高血圧、慢性呼吸器疾患、肥満等を有すると致死率が高まることや、血栓症(脳梗塞や心筋梗塞等)を合併しやすいこともわかってきました。

新型コロナウイルスは、無症状の人でもウイルスの排出が多く、感染力を持つという点がほかのコロナウイルスとの違いであり、感染症制圧を難しくしているところです。

■インフルエンザとの同時流行に備えて

冬季を迎え、インフルエンザとの感染症流行を念頭に対策していく必要がありますが、症状のみからは区別することが困難なため、あらかじめ新型コロナウイルスを持っているものとして感染予防に配慮しながらの対応が求められます。

厚生労働省と日本医師会は、患者数の増加を見込んで、特定の医療機関や保健所に負担が集中することを避けるため、かかりつけ医または地域で発熱者の相談や診療を分担できるような体制へ切り替えました。

昨年8月上旬では、若年者の割合が高かったのに対し、11月以降大都市圏を中心に高齢者の割合の増加、家族内感染や職場等のクラスター発生が多くなってきており、重症患者数増加が早まれば医療供給体制への圧迫が懸念されるところです。

一人ひとりが感染症のことをよく理解し、日々変化する情報を確認しつつ、みんなで力を合わせて、この難局を乗り越えていきましょう。



◆常北公民館 1日講座◆

可愛くお雛様♪ねりきり作り

日時 2月27日(土)
午前9時30分～正午
場所 常北公民館 調理室
講師 海老根 一美 先生
対象者 町内に在住または通勤している人
定員 先着12名
受講料 600円(材料費)
持参品 マスク・筆記用具・ふきん
申込方法 常北公民館窓口まで受講料を添えて、直接お申し込みください。
申込期間 1月30日(土)～2月7日(日)
※受付時間/月曜日を除く、午前9時～午後5時
申込先・問合せ 常北公民館 ☎029-288-5575



◆七会町民センター 1日講座◆

陶芸教室

日時 2月13日(土)
午前9時30分～11時30分
場所 七会町民センター 2階資料室
講師 岩野 一弘 先生
対象者 町内に在住または通勤している人
定員 先着10名
受講料 2,000円(材料費)
持参品 マスク・タオル・汚れてもよい服装
申込方法 七会町民センター窓口まで受講料を添えて、直接お申し込みください。
申込日 1月24日(日)、26(火)、28日(木)
申込先・問合せ 七会町民センター ☎0296-88-3111

